

令和 8 年度 南アルプス市公共下水道計画変更 特記仕様書

1. 全体計画 E (流域関連公共下水道：污水計画のみ)

【1】業務の目的

本委託業務は、下水道整備区域や将来的な土地利用状況等を確認した上で、下今諏訪工業団地及び南アルプス IC 周辺エリア追加による区域拡大に伴い、新たな全体計画区域の設定を行うとともに全体計画汚水量等の計画諸元の見直すことを目的とする。

【2】業務の内容

全体計画

汚水面積：既 計 画	2,446.0ha
今回追加	20.1ha (下今諏訪工業団地、南アルプス IC 周辺エリア)
計	2,466.1ha
雨水面積：既 計 画	2,891.0ha (変更なし)

【3】作業項目

標準仕様書の作業項目を基本とし下記の特記事項を踏まえて計画策定を行う。

(1) 基礎調査

1) 現地踏査

現況の家屋・道路・河川水路・主要地下埋設物状況等を調査し、地域特性を把握する。

2) 都市計画関連資料収集整理

市都市計画・総合計画等の資料収集・整理を行う。

3) 污水計画関連資料収集整理

污水处理施設の整備状況、維持管理状況及び計画内容、アクションプラン整備方針等の資料収集・整理を行う。

4) 既存の下水道及び屎尿処理の状況

浄化槽等の整備状況および計画内容の確認・整理を行う。

5) まとめと照査

(2) 下水道整備の基本方針の確認

下水道整備必要区域や整備手法等、下水道整備基本方針の確認を行う。

(3) 基本事項の検討

1) 整備目標

上位計画と整合を図り、目標年次を検討する。

2) 計画区域の確認

下今諏訪工業団地及び南アルプス IC 周辺エリア追加による計画区域の変更を行う。

3) 計画フレームの設定

近年の社会状況や市総合計画等の関連計画を考慮し、計画フレームの見直しを行う。

4) 汚水量原単位

過年度流入実績や関連計画等を基にした汚水量原単位の見直し検討を行う。

5) 計画汚水量

見直し後のフレーム・原単位を基に、汚水量を算定する。

また大規模工場排水については、下水道接続意思、実排水量等の調査結果（市にて調査予定）を反映し、排水量を設定する。

6) 汚濁負荷量原単位

処理場流入実績等を基にした汚濁負荷量原単位の見直し検討を行う。

7) 計画汚濁負荷量

見直し後のフレーム・原単位を基に、汚濁負荷量を算定する。

また大規模工場排水については、市での実態調査結果等を基に汚濁負荷量を設定する。

8) 設計基準の確認

近年の整備実績等も踏まえ、設計基準の確認・整理を行う。

9) まとめと照査

(4) 根幹的施設の配置の検討

1) 幹線ルート of 検討

現在までの管渠整備状況や、計画区域の見直し結果等を考慮し、幹線ルート・起終点位置を整理する。

2) ポンプ場の必要性の検討

区域拡大に伴う新たな接続ルート上における中継ポンプ場の必要性の検討を行う。

3) まとめと照査

(5) 財政計画の策定

1) 概算事業費

既設事業費の整理と、施設整備に関する残事業費の算定を行う。

2) 事業計画

施設整備の他、地震対策や改築更新事業等を視野に入れ、年間投資可能額を設定し、残事業の段階的整備計画案を作成する。

(6) 提出図書の作成

全体計画説明書・図面等の提出図書を作成する。

(7) 計画協議

発注者および関係機関(山梨県等)との計画協議を行う。

【4】提出図書

(1) 全体計画図書

(イ) 下水道全体計画説明書 A 4 版製本 5 部

(ロ) 下水道全体計画一般図（污水）
（縮尺 1/10,000 程度） A 1 又は A 0 5 部

(ハ) 主要な管渠の区画割施設平面図（污水）
（縮尺 1/2,500 程度） A 1 又は A 0 5 部

(二) 幹線管渠縦断面図 (汚水)		
(縮尺横 1/5,000 程度, 縦 1/200 程度)	A 3	5 部
(ホ) 主要な管渠の流量計算書 (汚水)	A 4	5 部
(2) その他関係図書		
(3) 打合せ議事録		
(4) 電子成果品	一式	

注) (ハ) (二) (ホ) については、今回追加をする下今諏訪工業団地及び南アルプス IC 周辺エリアの区域を本業務における作成対象とし、事業計画 E (流域関連公共下水道：汚水計画のみ) における汚水管渠計画の成果を活用する。

【5】その他事項

受注者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

照査技術者は、技術士（総合技術監理部門（下水道））を有し、過去 10 年以内に山梨県において流域関連公共下水道における同種実績を有してなければならない。

管理技術者は、技術士（総合技術監理部門（下水道）または上下水道部門（下水道））を有し、過去 10 年以内に山梨県において流域関連公共下水道における同種実績を有してなければならない。

また、セキュリティ対策及び個人情報保護に精通し、外部の情報漏えいが無いよう徹底した管理を実施するために、ISO9001、ISO27001、ISO55001 の認証をすべて取得しているものとする。

2. 事業計画E（流域関連公共下水道：汚水計画のみ）

【1】業務の目的

本委託業務は、南アルプス市において、公共下水道事業計画を施行するにあたり、下水道法第4条に規定する事業計画を定めるのに必要な図書を作成することを目的とする。

【2】業務の内容

① 事業計画

汚水面積	既 計 画	1,945.0ha
	今回追加	20.1ha（下今諏訪工業団地、南アルプス IC 周辺エリア）
	計	1,965.1ha
雨水面積	既 計 画	62.5ha（変更なし）

② 測量

なし（工業団地及び南アルプス IC 周辺エリア拡大のため、地盤高や水路等については造成時の資料をもとに検討を行う）

③ストックマネジメント計画の事前策定の有無

なし

④経営計画の事前策定の有無

なし

⑤雨水管理総合計画の事前策定の有無

なし

【3】作業項目

標準仕様書の作業項目を基本とし、新たな事業計画に対応した下記の特記事項を踏まえて計画策定を行う。

（1）基本作業の確認

基本事項の確認及び要望事項の確認を行う。

（2）基礎調査

1）関連計画の資料収集・整理を行う。

流域別下水道整備総合計画や都道府県構想等、関連計画に係わる資料を収集・整理を行う。

2）下水道整備・維持管理状況の資料収集・整理を行う。

汚水処理普及状況や浸水対策状況等下水道整備・維持管理状況に係わる資料収集・整理を行う。

3）まとめと照査

（3）基本事項の検討

1）認可区域及び認可区域計画フレームの設定

区域外接続済み区域の確認と面積測定・調整を行うとともに、事業計画期間延伸に伴う拡大区域を設定する。また、全体計画見直しおよび事業計画区域変更に伴い、事業計画処

理人口等のフレーム見直しを行う。

2) 計画汚水量、汚濁負荷量の算定

全体計画見直しや事業期間延伸・事業計画区域変更に伴い、事業計画汚水量、汚濁負荷量、流入水質の算定を行う。

3) まとめと照査

(4) 污水管渠計画

1) 施設設計・点検の基本方針

既設管渠の取扱い、点検箇所選定方針の検討、点検個所と点検頻度並びに点検方法の検討・確認等当該自治体の管渠施設に係る制約条件の確認。

2) 枝線ルートの設定

事業計画拡大区域について枝線ルートの設定を行う。

3) 区画割及び面積測定

事業計画拡大区域の区画割及び面積測定を行う。

4) 流量計算

事業計画拡大区域の流量計算を行う。

5) 区画割平面図作成

事業計画拡大区域の区画割平面図の作成を行う。

6) 幹線管渠縦断面図作成

事業計画拡大区域の幹線管渠縦断面図を作成する。

7) 幹線管渠の施設平面図作成（拡大区域）

事業計画拡大区域の主要な管渠（20 ヘクタール以上）の施設平面図を作成する。点検を行うためのマンホールの位置を記入する。

8) 幹線管渠の流量計算表作成

枝線管渠の流量計算書を基に、事業計画拡大区域の幹線管渠の流量計算を作成し、事業計画幹線延長および能力を整理する。

9) 下水道計画一般図の作成

事業計画図書に必要となる下水道計画一般図を作成する。

10) 関連管理者協議用図書作成

事業計画変更にかかわる関連管理者との協議用図書を作成する。

11) 概算事業費の算出

過年度の管渠整備事業費実績のまとめと残事業費の算出を行う。

12) まとめと照査

(5) 財政計画の策定

1) 年度別整備計画

管渠の年度別建設計画を策定する。またアクションプラン整備計画等を踏まえ年度別整備計画を策定する。

2) 年度別事業費の算出

各年度の建設事業費、維持管理費を算出する。地震対策・改築事業費、流域下水道分担金は既往の計画資料等を参考に整理する。

3) 財源計画

国庫補助金、受益者負担金、使用料等の算出を行い、年度別財政計画を立案する。

4) 下水道使用料等の見通し

接続率及び有収率向上の取り組みと見通しの整理を行う。

5) まとめと照査

(6) 主要な施設の設置及び機能維持に関する中長期的な方針

1) 施設の設置に関する方針

基礎調査で整理した内容を反映し、施設の設置に関する方針を整理する。

2) 施設の機能の維持に関する方針

基礎調査で整理した内容を反映し、施設の機能維持に関する方針を整理する。また、過年度事業費及び将来事業費の整理、目標耐用年数の設定、過去の年度別事業費に対する長期的な改築費用の試算を行う。

3) まとめと照査

(7) 提出図書作成

検討結果をとりまとめ、提出図書を作成する。

(8) 設計協議

発注者、山梨県等の関連機関との設計協議を行う。

【4】提出図書

(1) 事業計画図書

(イ) 事業計画書	A 4 版製本	5 部
-----------	---------	-----

(ロ) 事業計画説明書	A 4 版製本	5 部
-------------	---------	-----

(ハ) 下水道計画一般図（污水）		
（縮尺 1/10,000 程度）	A 1 又は A 0	5 部

(ニ) 主要な管渠の区画割施設平面図（污水）		
（縮尺 1/2,500 程度）	A 1 又は A 0	5 部

(ホ) 主要な管渠の縦断面図図（污水）		
（縮尺 縦 1/100、横 1/2,500 程度）	A 1	5 部

(ヘ) 主要な管渠の流量計算書（污水）		5 部
---------------------	--	-----

(2) その他参考図書

(イ) 枝線管渠の区画割施設平面図（污水）		
（縮尺 1/2,500 程度）	A 1 又は A 0	5 部

(ロ) 枝線管渠の縦断面図図（污水）		
（縮尺 縦 1/100、横 1/2,500 程度）	A 1	5 部

(ハ) 枝線管渠の流量計算書（污水）		5 部
--------------------	--	-----

(ニ) 計画降雨浸水防止区域図		一式
-----------------	--	----

(3) 打合せ議事録

(4) 電子成果品		一式
-----------	--	----

※提出書類や協議書類等については、上記の他、山梨県等との協議により必要とされた資料も作成すること。

3. 都市計画決定図書作成 E (流域関連公共下水道：污水計画のみ)

【1】業務の目的

本委託業務は、南アルプス市公共下水道事業において、公共下水道事業を施行するに当り、都市計画の変更に必要な図書を作成することを目的とする。

【2】業務の内容

汚水面積：既 計 画	2,446.0ha
今回追加	20.1ha (下今諏訪工業団地、南アルプス IC 周辺エリア)
計	2,466.1ha
雨水面積：既 計 画	2,891.0ha (変更なし)

【3】作業項目

- (1) 基本事項の打合せ
- (2) 総括図
- (3) 計画図
- (4) 計画書
- (5) 参考図書
- (6) まとめ

【4】提出図書

- (1) 計画図書
 - (イ) 計画書
 - (ロ) 計画図
 - ①下水道計画総括図 (縮尺 1/25,000 程度) 都市計画総括図 5 部
- (2) その他参考図書
- (3) 打合せ議事録
- (4) 電子成果品 一式

※提出書類や協議書類等については、上記の他、山梨県、南アルプス市都市計画課等との協議により必要とされた資料も作成すること。

4. 都市計画事業認可申請図書作成E（流域関連公共下水道：污水計画のみ）

【1】業務の目的

本委託業務は、南アルプス市公共下水道事業において、公共下水道事業を施行するに当り、都市計画法第 60 条に規定する事業計画を定めるに必要な図書を作成することを目的とする。

【2】業務の内容

汚水面積	既 計 画	1,945.0ha
	今回追加	20.1ha（下今諏訪工業団地、南アルプス IC 周辺エリア）
	計	1,965.1ha
雨水面積	既 計 画	62.5ha（変更なし）

【3】作業項目

標準仕様書の作業項目を基本とし、下記の特記事項を踏まえて計画策定を行う。

（1）基本事項の打合せ

基本事項及び事業認可作業方針の確認を行う。

（2）計画図

区域の変更を踏まえ、事業地を表示する図面および設計の概要を表示する図面を作成する。

（3）申請書

目標年次の延伸に伴い計画内容・資金計画の見直しを行い、申請書・計画書・資金計画書等を作成する。

（4）参考図書

事業進捗状況図等の参考資料およびその他申請必要資料を作成する。

（5）まとめ

【4】提出図書

（1）事業認可申請図書

（イ）認可申請書	A 4	5 部
（ロ）事業地を表示する図面（位置図）（污水・雨水）（縮尺 1/10,000 程度）	A 0	5 部
（ハ）事業地を表示する図面（平面図）（污水・雨水）（縮尺 1/2,500 程度）	A 0	5 部
（ニ）設計の概要を表示する図面（平面図）（污水・雨水）（縮尺 1/2,500 程度）	A 0	5 部
（ホ）その他参考図書		

（2）打合せ議事録

（3）電子成果品 一式

※提出書類や協議書類等については、上記の他、山梨県、南アルプス市都市計画課等との協議により必要とされた資料も作成すること。